

日本人間関係学会 第32回全国大会 プログラム・発表要旨集

大会テーマ：「公共性の回復と人間関係の復活」

2024年9月28日（土）～29日（日）

会場：高知大学朝倉キャンパス



目 次

大会会場の御案内.....	1
学内キャンパスマップ	1
共通教育棟案内図	3
参加者への御案内.....	4
1 各種申込について	4
(1) 参加申込について.....	4
(2) 各種発表（口頭発表、自主シンポジウム、自主ラウンドテーブル）の申込について.....	4
(3) 昼食の申込について	4
(4) 情報交換会の申込について.....	4
2 会場について.....	4
3 その他	5
口頭研究・実践発表の御案内	6
発表者へのお願い	6
座長へのお願い.....	6
大会プログラム	7
9月28日（土）	7
9月29日（日）	8
一般社団法人日本人間関係学会第32回全国大会の御挨拶.....	9

大会会場の御案内

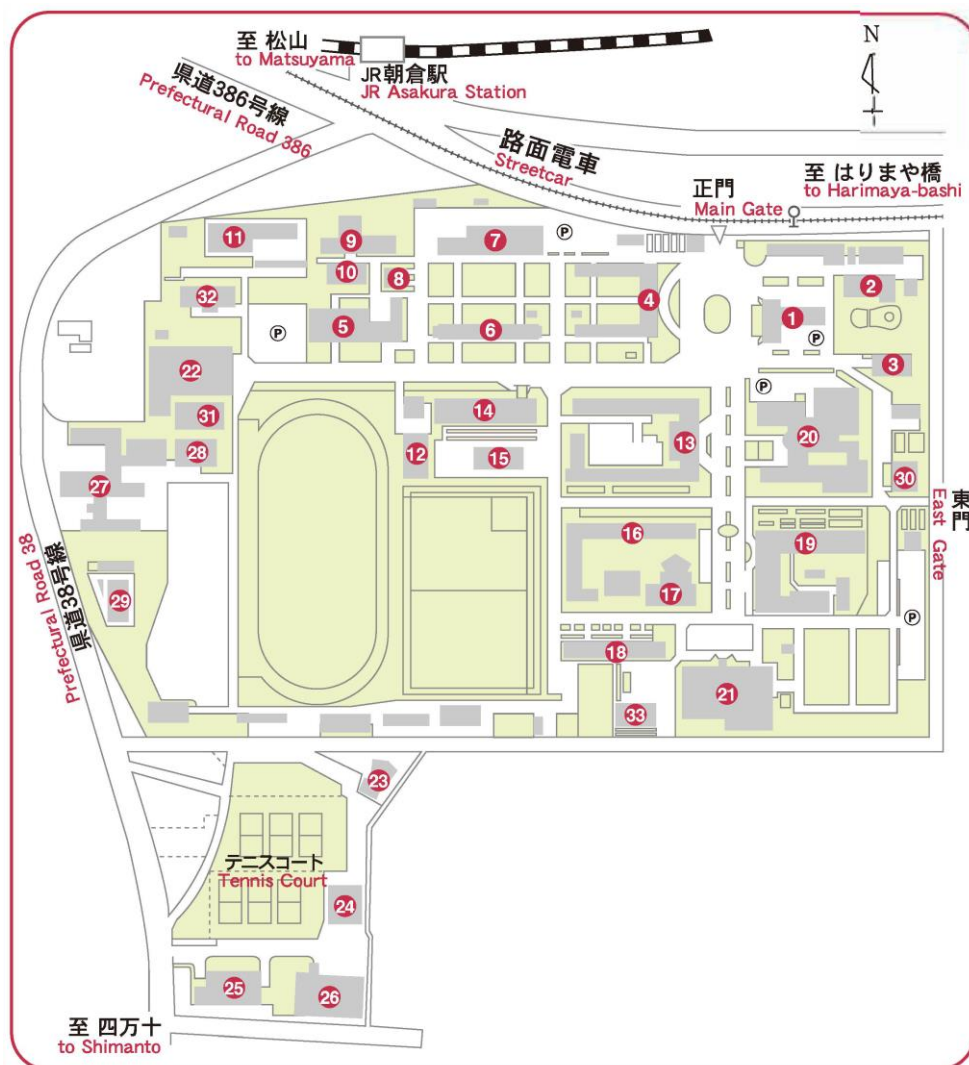
開催日 : 2024年9月28日(土)～29日(日)

会場 : 高知大学朝倉キャンパス(高知市曙町2-5-1)

アクセス : 高知龍馬空港から自動車で1時間、JR高知駅から自動車で25分、JR朝倉駅から徒歩1分、とさでん交通朝倉(高知大学前)駅(路面電車の電停)から徒歩1分、とさでん交通朝倉高知大学前バス停から徒歩1分

朝倉キャンパスは高知市の西端に位置しております。宿泊施設は高知市中心部に集中しており、朝倉キャンパス周辺にはございませんので御注意願います。観光名所(高知城、はりまや橋等)・飲食店(ひろめ市場等)も高知市中心部に集中しております。

学内キャンパスマップ

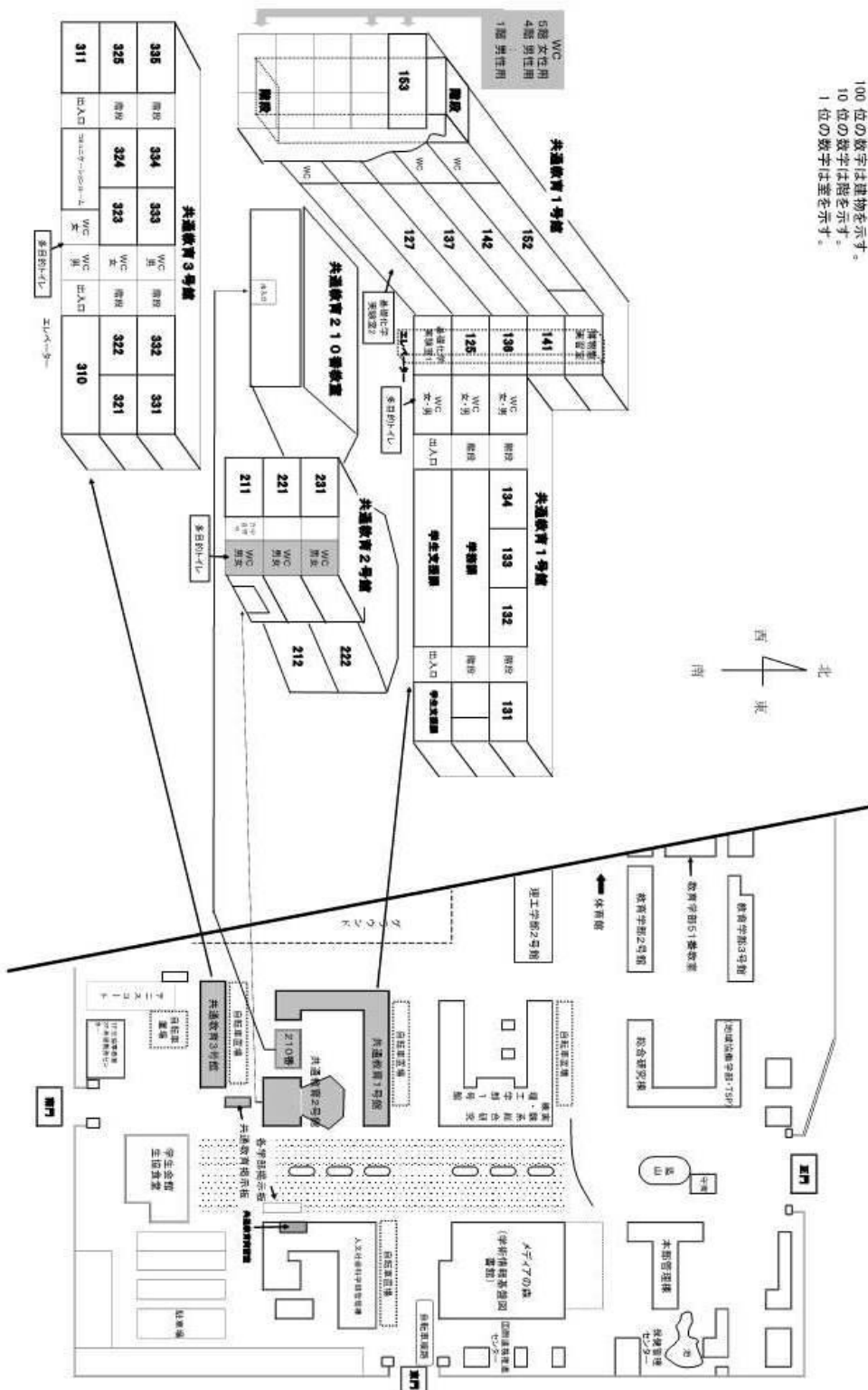


- 1 本部管理棟
- 2 おうちクラブ
- 3 保健管理センター
- 4 地域協働学部棟
- 5 教育学部 1 号館
- 6 教育学部 2 号館
- 7 教育学部 3 号館
- 8 教育学部 51 番教室
- 9 教育学部音楽棟
- 10 教職実践高度化専攻附属学校教育研究センター
- 11 プール
- 12 理工学部情報科学棟
- 13 実験系総合研究棟・理工学部 1 号館
- 14 理工学部 2 号館
- 15 理工学部防災工学実験棟
- 16 共通教育 1 号館・学生サービスセンター
- 17 共通教育 2 号館
- 18 共通教育 3 号館
- 19 人文社会科学部棟
- 20 メディアの森・学術情報基盤図書館
- 21 学生会館
- 22 北体育館
- 23 理工学部附属高知地震観測所
- 24 理工学部附属水熱化学実験所
- 25 次世代地域創造センター
- 26 南体育館
- 27 特別支援学校校舎
- 28 特別支援学校日常生活訓練施設（くじらの家）
- 29 プール
- 30 グローバル教育支援センター
- 31 トレーニング室棟
- 32 武道館
- 33 福利厚生施設・希望創発センター

共通教育棟案内図

朝倉キャンパス 共通教育棟・事務室等案内図

(教室番号の戻り方)
 100 位の数字は建物を示す。
 10 位の数字は階を示す。
 1 位の数字は室を示す。



参加者への御案内

1 各種申込について

(1) 参加申込について

当日参加も受け付けます。ただし、なるべく本学会 HP に掲載している日本人間関係学会第 32 回全国大会参加申込書兼各種費用振込書により、8 月 30 日（金）までに各種費用を納入して下さいますようお願いいたします。各種費用振込書の提出及び各種費用の納入をもって申込を受理します。

各種費用の額については上記加申込書兼各種費用振込書を御覧下さい。

(2) 各種発表（口頭発表、自主シンポジウム、自主ラウンドテーブル）の申込について

本学会 HP に掲載している日本人間関係学会第 32 回全国大会発表等申込書及び発表要旨原稿を 6 月 28 日（金）までに御提出いただくと共に、上記の各種費用振込書により 8 月 30 日（月）までに要旨掲載費を納入して下さいますようお願いいたします。上記発表等申込書・発表要旨原稿の提出及び要旨掲載費の納入をもって申込を受理します。発表要旨原稿は本学会 HP に掲載している第 32 回日本人間関係学会全国大会発表等要旨集原稿執筆要領に従って執筆して下さい。

(3) 昼食の申込について

9 月 28 日（土）・9 月 29 日（日）ともお弁当（お茶付き 1,000 円）を用意します。当日申込分も用意しますが、余り数がございませんので、なるべく事前予約をお願いいたします。

(4) 情報交換会の申込について

当日参加も受け付けます。ただし、なるべく上記の各種費用振込書により、8 月 30 日（金）までに参加費を納入して下さいますようお願いいたします。

(5) 書類の提出先について

日本人間関係学会第 32 回全国大会事務局（jahr32thconference@gmail.com）あてメールへの添付にてお願いいたします。

(6) 各種費用の納入先について

【ゆうちょ銀行から振込】 記号：14320 口座：77246181

名前：一般社団法人日本人間関係学会

【他銀行から振込】

店名：四三八（ヨンサンハチ）

店番：438 預金種目：普通預金 口座番号：7724618

名前：一般社団法人日本人間関係学会

2 会場について

- (1) 参加者控室：共通教育棟 134 番教室（簡単な湯茶・菓子を用意します）
- (2) 役員控室：共通教育棟 132 番教室
- (3) クローク：共通教育棟 125 番教室

3 その他

希望者のみ 9 月 29 日（日） 11:50～生協食堂前広場で記念写真撮影を行いますので御参加下さい。写真は学会公式ホームページ等でアップいたします。

新型コロナウイルス感染拡大の状況によってはプログラム内容等を変更する場合がございます。アナウンス、掲示、ホームページ等を御確認下さい。

口頭研究・実践発表の御案内

発表者へのお願い

- 1 指定会場で発表を行って下さい。発表要旨以外に補足資料等がある場合は各自で15部程度準備し、会場で配布して下さい。
- 2 指定された会場に10分前までに集まり、各自パソコン等機器の動作を確認の上、発表の運営について座長と打合せて下さい。
- 3 連名発表者も本大会に参加し、発表と討論を行って下さい。
- 4 発表は発表時間20分、質疑応答10分とします。
- 5 発表の際の時間合図は以下のとおりです。
 - 1 鈴：「発表開始後15分経過」
 - 2 鈴：「発表開始後20分経過（発表終了）」
 - 3 鈴：「発表開始後30分経過」（質疑応答終了）」

座長へのお願い

- 1 口頭研究・実践発表時間の10分前に会場にお越し下さい。
- 2 発表者が欠席（発表取消を含む）の場合は次の発表を繰り上げて行い、発表終了後に学会事務局に報告して下さい。
- 3 会場からの質問では所属と氏名を述べてから質問するようお伝え下さい。
- 4 会場からの質問が少ない場合は座長が適宜質問やコメントを行い、議論が深まるように配慮して下さい。
- 5 発表者が発表の仕方等に不適切な点がある場合は、適宜注意して下さい。
- 6 発表のルール（時間厳守など）に適った発表が行われるよう運営して下さい。

大会プログラム

9月28日(土)

- ・ 9:30～ 受付開始<共通教育棟 127 番教室前>
- ・ 10:00～10:15 開会と諸案内<共通教育棟 127 番教室>
- ・ 10:15～10:30 大会長挨拶・理事長挨拶<共通教育棟 1 号棟 127 番教室>
- ・ 10:30～11:15 実行委員会企画①高知県のよさこいについて<共通教育棟 127 番教室>
川竹 大輔(高知大学理事特別補佐、日本人間関係学会員)
- 11:15～12:00 実行委員会企画②高知県の文学について<共通教育棟 127 番教室>
元吉 喜志男(元高知県立文学館長)・朗読サークル「潮騒」
- ・ 12:00～13:00 休憩
- ・ 13:00～14:30 自主企画①(シンポジウム, ラウンドテーブル等)
- ・ 14:30～14:40 休憩
- ・ 14:40～15:40 総会<共通教育棟 127 番教室>
- ・ 15:40～15:50 休憩
- ・ 15:50～17:20 基調講演<共通教育棟 127 番教室>
鈴木 大裕(土佐町会議員、教育研究者)
- ・ 17:30～ 情報交換会<高知大学生生活協同組合食堂>

9月29日(日)

・ 9:30～ 受付開始<共通教育棟 127 番教室前>

・ 10:00～12:00 口頭発表・実践発表

①共通教育棟 136 番教室②共通教育棟 141 番教室

(座長)

(座長)

・ 10:00～10:30

・ 10:30～11:00

・ 11:00～11:30

・ 11:30～12:00

12:00～13:00 休憩 希望者のみ 11:50～生協食堂前で記念撮影を行います。

・ 13:00～14:30 自主企画②(シンポジウム, ラウンドテーブル等)

14:30～14:40 休憩(研究委員は研究賞選考)

・ 14:40～15:00 閉会式(研究賞発表、次年度開催校発表等) <共通教育棟 127 番教室>

一般社団法人日本人間関係学会第 32 回全国大会の御挨拶（大会長）

大会長 加藤 誠之（日本人間関係学会理事、高知大学教育学部教授）

このたび日本人間関係学会第 32 回全国大会を高知大学朝倉キャンパスで開催します。高知大学での開催は第 18 回全国大会（2010 年）に続き 2 度目です。14 年の間には東日本大震災、福島第一原発事故、新型コロナウイルス感染症の流行等大きな事件がありました。特に新型コロナウイルス感染症の流行では、3 年間にわたって外出もままならない日々を余儀なくされました。このたび皆様をお迎えして、対面で大会を開催できることを心から嬉しく存じております。我が国では、この 30 年間は「失われた 30 年」と呼ばれています。この時期は「今だけ、金だけ、自分だけ」と言われる新自由主義の横行により人と人のつながりが損なわれ、公共性が失われ、社会の基盤が揺らいだ時期でした。私の専門とする非行について言えば、1970 年代～1980 年代の暴走族は確かに反社会的集団であるとはいえ、非行少年に人と人とのつながりをもつ機会を提供していました。それゆえ、非行少年は社会からはじき出されず、やがて彼らなりに居場所を見つけて「オチツイて」いきました。その後、非行の量的動向とされる少年刑法犯等検挙人員は激減し、非行は量的に激減しました。しかし、他方では、若者が人と人とのつながりをもてないまま孤立して暴発する事件を引き起こすようになったのではないかと思います。今回の大会ではテーマを「公共性の回復と人間関係の復活」と決めました。我が国では従来、個が自立しないまま全体に埋没し、時には全体のために犠牲を強いられることが多々ありました。今後は自立した個を背景とし、犠牲とは違う形で全体のために役立つ新しい公共性を模索していきたいと考えております。この問題を考える上で、自由民権運動の発信地になった高知県の歴史は今日的な意義を持っているのではないのでしょうか。9 月 27 日（金）午後には語り部部会の御協力によるエクスカージョンも準備しておりますので、皆様奮って御参加下さいますようお願いいたします。南国土佐で皆様にお目にかかれることを楽しみにしております。

一般社団法人日本人間関係学会第 32 回全国大会の御挨拶（理事長）

一般社団法人日本人間関係学会理事長 早坂三郎(甲子園短期大学学長)